とうきょう
すくわく
プログラム

こどもの「すくすく×わくわく」をおうえん

とうきょう　すくわくプログラム
活動報告書
久米川なかよし保育園
よつばぐみ（２歳児）

とうきょう　すくわくプログラム活動報告書

施設名	久米川なかよし保育園
施設所在地	東京都栄町１の６の１　リシェス久米川１号B号室
法人名	鷺沼なかよし保育園

１活動のテーマ

光と影

〈テーマの設定理由〉

日陰と日向の違いや影に興味を持ち遊びを広げていきたい。

２活動スケジュール

１月　影ってなにかな？
２月　物の影・物の光、職員周知
３月　光と遊ぼう、保護者掲示

3活動のために準備した素材や道具、環境の設定

〈素材・道具〉

懐中電灯、紙コップ、サランラップ

〈環境設定〉

子どもが発見したものの興味を深められるように声をかけていく。
散歩先で日向と日陰の違いを話したり影を発見しやすい場所であそぶ

4探究活動の実践

最初は公園の木陰や日向の涼しさやまぶしさに子どもたちが興味をもった。その中で影にも興味をもっていき、自分たちの影にも興味が広がっていった。階段で伸びている影や地面の小さな影を追いかけながら遊ぶ姿もあり「なんでついてくるの！？」「おおきくなった」と形が変わるのを楽しみながら遊んでいる様子も見られた。お部屋では懐中電灯を使い色の変化を楽しんだり天井や床に映る絵を楽しんでいた。いつもと違う部屋の暗さに周りをキョロキョロしながら遊んでいるおもちゃや保育室を照らして観察していた。

5振り返り

テーマが少し難しかったが子どもたちは楽しんで遊んでいた。
外でも部屋でも光や影を追いながら遊んでみたり、日差しの温かさに気づく姿もあった。懐中電灯では特にいつも使っている玩具を照らしていつもと違うおもちゃの見え方を楽しんだり、服を光らせ色が変わっているのを視覚的に喜んでいた。

1　活動のテーマ

光と影

2　問いを考える

日陰と日向の違いや
影に興味をもつ

１月　影ってなんだ？
２月　物の影・物の光
３月　光で遊ぼう

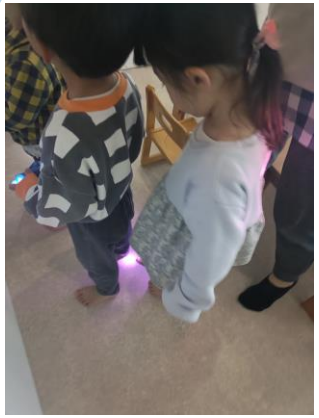
3　環境をデザインする
活動のために準備した素材や道具

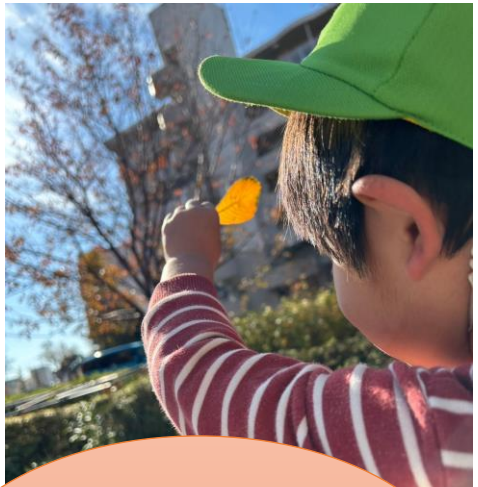
・懐中電灯
・紙コップ
・カラーセロハン

子どもが発見したものの興味を深められるように声をかけていく。散歩先でも日陰と日向について話をしてみたり、子どもたちが知りたいという気持ちを大事にしながら活動を進めていく。

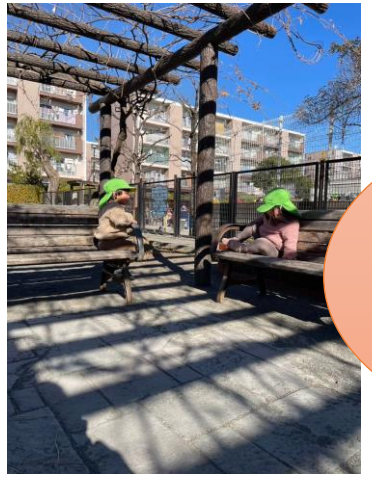
４　探究活動の実践

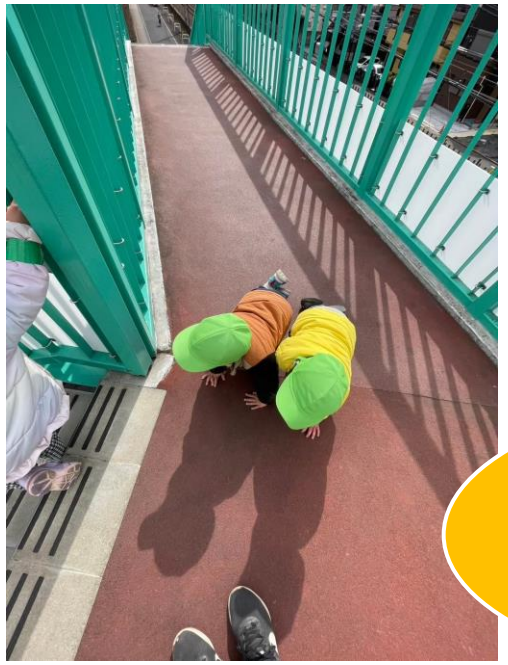
小さい光
大きな光

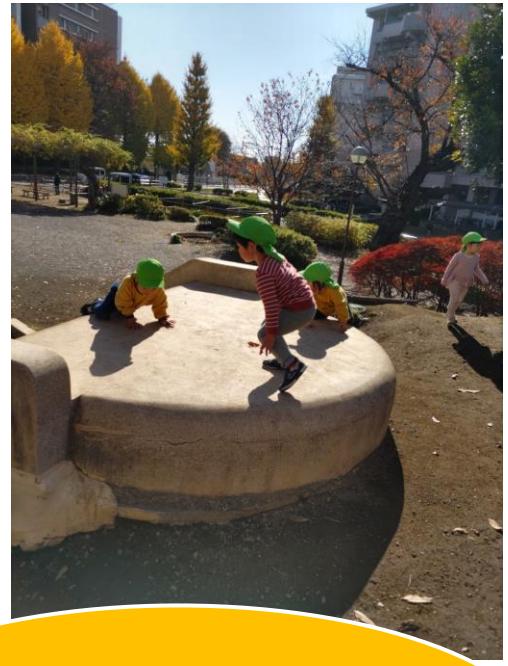




おひさまって
あったかいね







まてまて！
影さんどこいくの！？

５ 振り返り

部屋の中で懐中電灯で遊んでみると真剣に見ていた。同じことを戸外でしたが同じにならず「なんで？」と疑問を持つと子ども同士部屋と外の違いを考えているように見えた。これからもこどもの小さな疑問を大事にしていきたい

懐中電灯を人数分用意することで壁に写したり、床に写したりとそれぞれの遊びを楽しんでいる姿が見られた。手を映してみたり、服を透かして見ることで見え方の違いを楽しんでいた。

天気の良い日に外で遊んでいると影ができ、子どもたちと自分や物の影について話をしてみる。同じ影でも大きさが違うことや角度によって形が変わることをおもしろがっている子もいた

光と影

戸外では、光について伝えるときにおひさまを使って伝えた。自然にも目をむけられる機会ができた。また部屋の窓に型抜きをした画用紙を張り星や花の形を楽しんでいた

影ふみを伝えるが子どもたちにはまだ難しかった。冬の活動が多かったので日が出ていると温かい曇りの日は寒いなど光と影を通して気温や天気のことも伝えることができた。１つの活動から色んなことを伝えられた。

自分の影を追いかけている姿が可愛かった。木の中に隠れ、かくれんぼのようにして楽しんでいる姿もあり自分たちで遊びを工夫できていた。また部屋の中では、明るい暗いを電気を通して感じていたが影についての伝え方は難しかった